

神奈川 新 聞

THE
KANAGAWA

2023年〔令和5年〕

3月17日〔金〕

先負

©神奈川新聞社 28926号

〒231-8445 横浜市中区太田町2-23

総合受付 045-227-1111〔1ヵ月3189円・1部130円〕



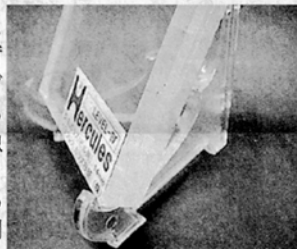
■「国内最強」の防犯・防弾ガラスを開発

強盗事件の相次ぐ発生で、最近、防犯意識が一層の高まりを見せている。犯人の逮捕や抑止力となる監視カメラの設置も効果的だが、「そもそも犯罪を発生させない、自らできる防犯対策」に関心が寄せられており、横浜発の「国内最強の防犯ガラス」にも大きな注目が集まっている。

ヘラクレスガラス技研（横浜市青葉区、伊地知正樹代表）は2002年、大手ガラスメーカーを退職した伊地知氏が「合わせガラス」の研究開発拠点として創業した。

「合わせガラス」とは、2枚のガラスの間にフィルムを挟んだ構造で、ガラスに衝撃がかかった際に破片が飛び散りにくく、貫通しにくいといった特長があり、自動車のフロントガラスなどに使われている。

この合わせガラスの製法はフィルム合わせ法が主流だったが、「環境負荷を減らし、より安価で安全な合わせガラスを製造し、住宅、小規模店舗にも普及させたい」という思いから同社独自の「ヘラクレス液体樹脂」を開発。2枚のガラスをこの樹脂で密着させる「ヘラクレス樹脂合わせガラス」を開発した。



代表と従業員2人の少数精鋭ながらも、その技術開発力は「防衛省や米軍からも認められた」といい、国内最高水準の強度を誇る。

リスクに対応した防犯用途に応じて、住宅用、ビル用、防爆用、防弾用と4種類あり、ビル用でも大型ハンマー、大斧計30回の打撃でもガラスが貫通しないほど。最近では、快適な電波状況を維持したいというニーズに対応するため、5G、4G電波を遮断することのない「ヘラクレス5G対応遮熱ガラス」の開発に成功し、現在展示会などで提案している。

ヘラクレスガラス技研株式会社 〒227-0034横浜市青葉区桂台2の37の61 ☎045(963)5248 ファクス045(532)6580。ht
tps://www.hercules.co.jp/index.html 電子メールは、info@hercules.co.jp

（情報提供・県よろず支援拠点／実施機関：神奈川産業振興センター）